

対象年度	令和 8年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	市民文化センター改修事業						予算事業名	市民文化センター管理運営経費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	建築基準法施行令					
			10	05	07	0502	経常経費							
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造 芸術文化を楽しむ機会の充実						事業の区分	主要事業(6次総非掲載)						
							担当課係等	生涯学習課 文化係						
事業期間	継続 (令和 6年度～令和 7年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 市民文化センターの利用者及び来館者の安全・安心を確保し、市民の文化芸術活動の拠点として活用するとともに、災害時の避難所としての機能を果たす。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】 市民文化センターの大・小ホールの特設天井が、東日本大震災後に改定された建築基準法に適合していない既存不適格の状態であり、県西県民センター建築指導課から改善が望ましいと勧告を受けた。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 天井脱落の危険性を排除し、安全性を確保及び老朽化した設備の機能強化を図るため、改修工事を実施する。						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 ・市民文化センター(アクロス) ・市民文化センター利用者及び来館者								
						【事業をとりまく環境の変化】 東日本大震災時、市民文化センターの大・小ホールの吊り天井は、ほぼ無事であったが、東日本大震災以降、改正された建築基準法で天井脱落対策の規制が強化されたことにより、既存不適格となり、改築時等に落下防止措置を講ずるよう位置づけられた。								
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】						
リニューアルオープン記念事業(市民文化センター管理運営事業に記載)														

■事業費

		R06年度	R07年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	334,400	1,386,900			
	その他	0	0			
	一般財源	-10	1,735			
歳入計(千円)		334,390	1,388,635			
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)	金額(千円)		
	12 委託料		7,390	55,435		
	14 工事請負費		327,000	1,333,200		
	歳出計(千円)(A)		334,390	1,388,635		
伸び率(%)			315.27			
備考	予算書205ページ					

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	天井等の改修件数	件	目標	0.00	1.00	0.00
	市民の文化活動の拠点及び避難所として、安全安心な環境を維持する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	アクロスの大・小ホール天井は、平成26年の「建築基準法施行令」の改正により既存不適格となったため、早急に改修する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	現行法に適合した天井に改修し、利用者の安全を確保することは、設置者である市の責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	令和3年度に策定した「基本設計」に基づき、天井改修に最適な工法を選択し、工事内容を決定している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	近年の建築資材や人件費の高騰により事業コストは増加しているが、避難所としての機能を高めるため空調設備やトイレの改修工事を併せて実施し、「緊急防災・減災事業債」を充当することで、市の財政負担の軽減が図られる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	令和6年度には7万人以上が使用し、市民のみでなく、市外の方も数多く利用している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	施設の安全性や利便性が向上するとともに、災害時の避難所としての機能も高められることは、施設自体の価値を高めるものである。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	本来は、令和5・6年度に改修工事を実施する計画であったが、近年の建設資材の高騰などにより入札が不調となったため、設計積算の見直しをおこなったことにより、工事開始は1年以上遅れることとなった。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
近年の世界情勢に伴う価格高騰や異常気象など困難な事態への対応が求められ、また、改修工事の特性上、工事開始後に当初の設計にはない想定外の事態の発生が懸念される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
問題が発生した場合、関係機関や施工者と速やかに協議を行い、最善の方法を選択することによって工事を完了させることを目指していく。 また、安全第一で、関係者の健康に留意して工事を進める。			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 本事業が7年度に完了する見込みであるため、この事業自体は終了となる。この事業により、多くの利用者に安全安心な文化施設として、8年度には開館予定である。また、災害時には避難所になることから、市民の生命を守るための大事な公共施設でもある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>